

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川高梁川水系田黒川外 測量設計業務委託（災害査定）

事業名 または 工事名 一級河川高梁川水系田黒川外 測量設計業務

調査目的及び調査対象 河川 構造物基礎

ボーリング名	R2-BP.1	調査位置	広島県庄原市西城町平子	北緯	34° 54' 59.1994"
発注機関	広島県北部建設事務所 庄原支所	調査期間	2020年 10月 27日 ~ 2020年 10月 30日	東経	133° 06' 32.6140"
調査業者名		管理技術者		照査技術者	
孔口標高	T.P. 295.71m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	試験機 YBM製YBM-1WA型 エンジン ヤンマーTF120V-E型
				コアア 鑑定者	
				ポンプ	YBM製GP-5型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定深度 (m)	標準貫入試験					試験採取番号	室位置試験	削孔月日		
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	294.01	1.70	玉石	玉石		暗灰				0.0~0.2m間は砂岩垂鉛礫からなる。 0.2~1.7m間は流紋岩の硬質な玉石。		43	1.15	6	23	14	43	300			10/27
2	293.21	2.50	礫混り砂	礫混り砂		灰褐 / 褐	緩い			φ3~5mm程度の礫を少量含む砂主体。	(2, 3, 2)	7	2.15	2	3	2	7	300			
3	291.95	3.75	礫混り粘性土質砂	礫混り粘性土質砂		淡褐 / 褐	緩い			φ3~5mm程度の礫を少量含む。 基質は粘性土質砂主体。 3.0~3.5m間は礫分多いが、2.5~3.0m、3.5~3.7m間は粘性シルト分大きい。	(2, 3, 3)	8	3.15	2	3	3	8	300			
4											(2, 3, 6)	11	4.15	2	3	6	11	300			
5										通称、流れマサと呼ばれる花崗岩が強風化しマサとして移動再堆積したもの。 6.0~6.2m間は花崗岩片残存する。	(9, 11, 11)	31	5.15	9	11	11	31	300			
6	289.16	6.55									(9, 7, 8)	24	6.15	9	7	8	24	300			10/28
7	289.05	6.65								緩い粘性土を採む。		52	7.15	18	17	15	50	290	290		
8												115	8.15	32	18	30	50	130	130		
9												100	9.15	30	20	50	150	150			
10	285.71	10.00										115	10.15	33	17	50	130	130			10/29